

知識工学汎論

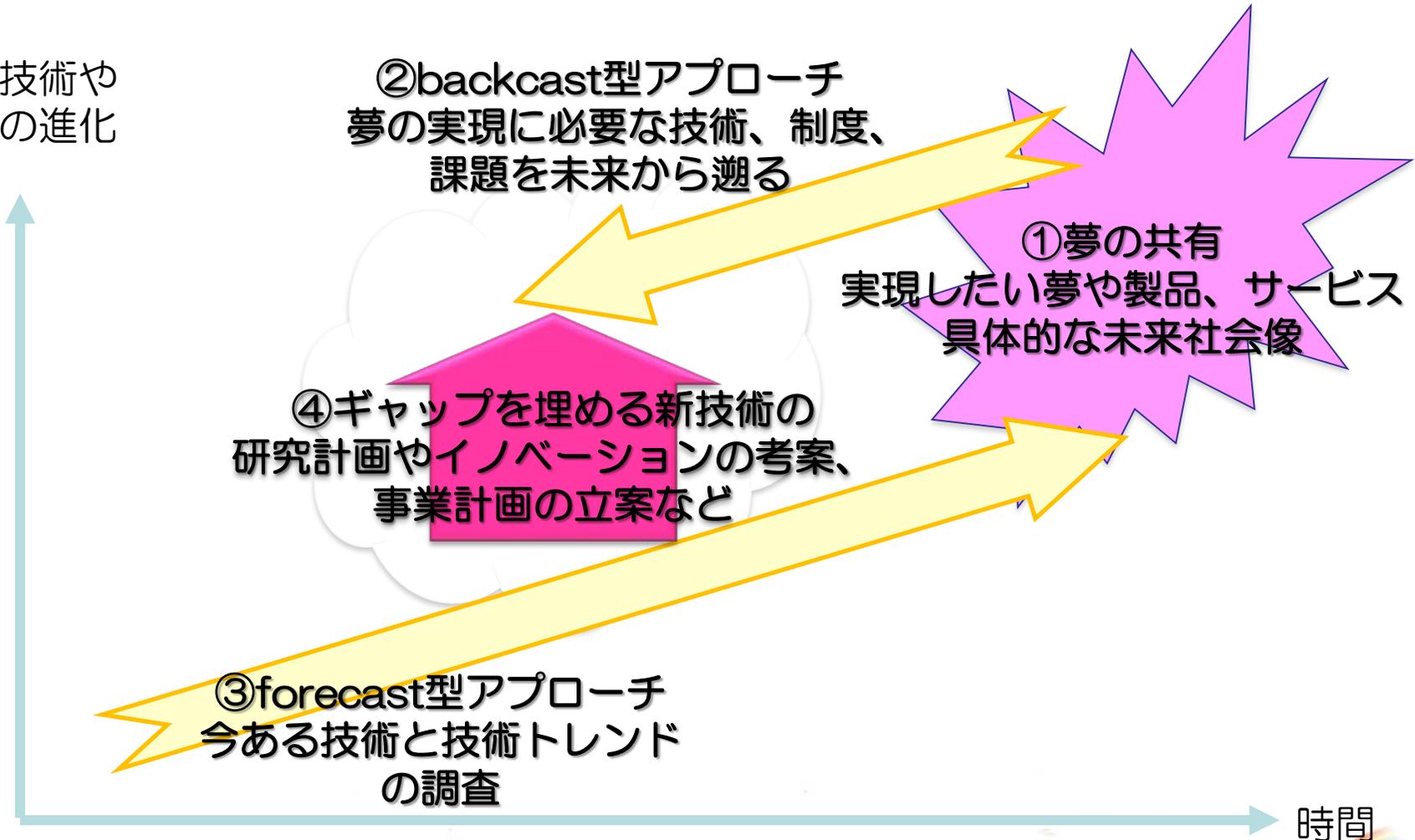
知識工学部の4学科の学生でチームを作り, お互いに他分野を学ぶ学生同士の協働を経験するカリキュラムを知識工学汎論の後半(第8回～第12回)に用意する.



取り組むべき内容

各班で①から④のプロセスに沿って議論し、調査し、発表を行う。実現したい夢の題材は自由。

科学技術や
社会の進化



スケジュール案

授業日	項目
1回目 (6月5日)	<ul style="list-style-type: none">☑ 教員による説明と班分け、各班で自己紹介☑ トピックを絞る議論(スライド#2のプロセス①)☑ 実現に必要な技術、制度、課題等をバックキャスト(プロセス②)☑ フォアキャストの議論にどのようなデータを収集するか討論
2回目 (6月19日)	<ul style="list-style-type: none">☑ 調査データを持ち寄り、班で互いに紹介(プロセス③)☑ ここまでの議論と調査結果を資料化 (簡単なパワーポイントでスライド#2の①~③と議論結果を示す)
3回目 (6月26日)	<ul style="list-style-type: none">☑ 中間発表会、パワーポイントを使って発表☑ その後、議論をさらに展開させる(プロセス④)
4回目 (7月3日)	<ul style="list-style-type: none">☑ 最終発表に向けての作業、準備
5回目 (7月10日)	<ul style="list-style-type: none">☑ 最終発表会



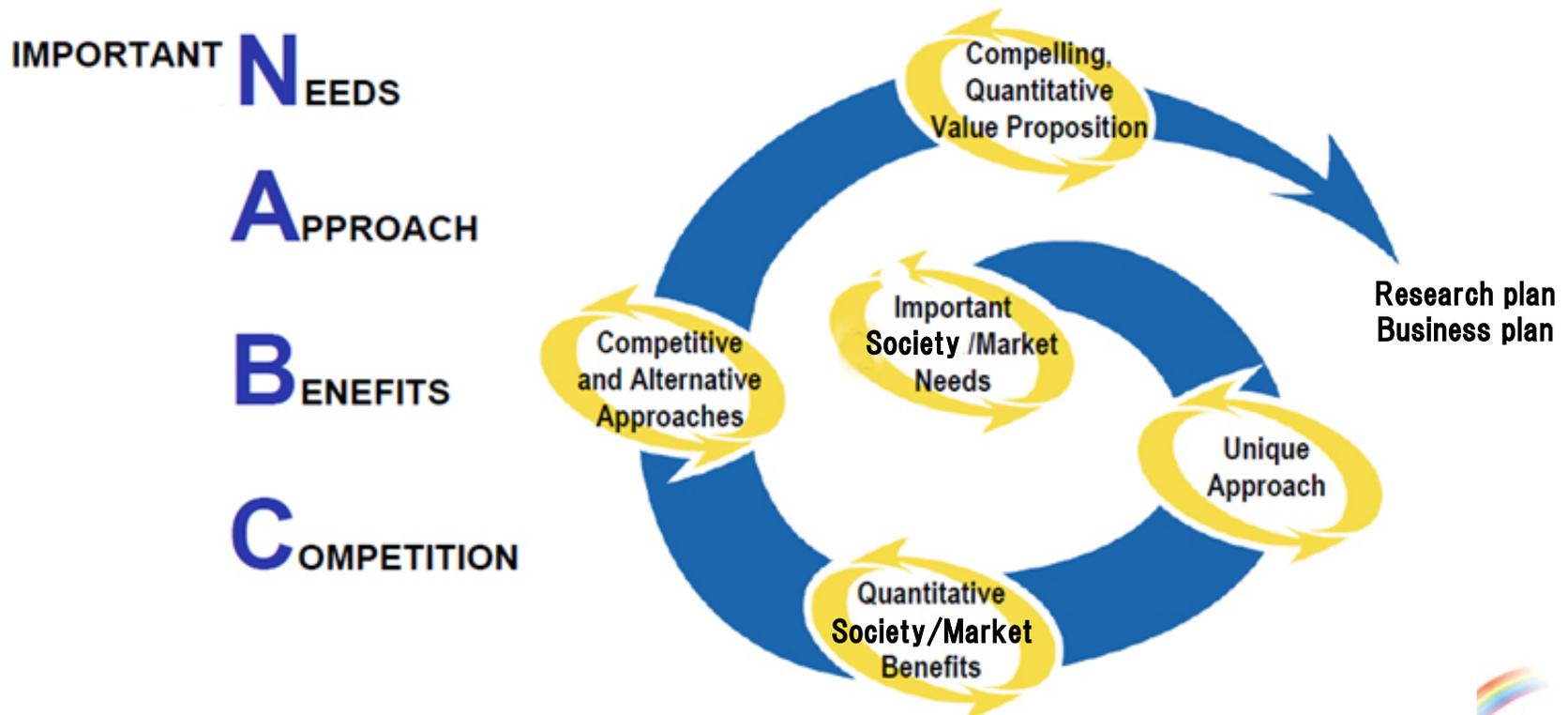
最終発表で盛り込む要素

新しいこと(価値)を生み出すツールとして自分達の提案の「NABC」を整理してみよう！

NABCはStanford Research Instituteで提唱されている価値創出のツール

SRI's "NABC" approach

A methodology to develop a quantitative value proposition — the first step in value creation



テーマ

インターネットに繋がっていないモノを探しそれをつなぐことでどんな新しいことができるようになるか？



Internet of Things

Artificial Intelligence

